

官報

號外

明治二十九年二月十三日

木曜日 內閣官報局

○第九回 貴族院議事速記録第十八號

明治二十九年二月十二日(水曜日)午前十時五十二分開議

議事日程 第十八號 明治二十九年二月十二日

午前十時開議

第一 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員報告)

第二 明治二十八年年度特別會計歲入歲出豫算追加案(乙)(政府提出衆議院送付) 會 議(豫算委員報告)

第三 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案 第一讀會

第五 (政府提出衆議院送付) 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉鎮守府造船材料資金増加ニ關スル法律案 第一讀會

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十四 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十五 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十六 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十七 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十八 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十九 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第二十一 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中央線第一項ヲ左ノ通改正ス
一 神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

同條中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通り改正ス
一 岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道

一 前項ノ線路ヨリ分岐シ若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

第七條第一項ヲ左ノ通改正ス

一 中央線定線ノ内神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

第九條中金六千萬圓ヲ金六千八百萬圓ニ改ム
(公費近衛篤磨君演壇ニ登ル)

○公費近衛篤磨君 委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報道ニ及ビマス、此案ハ即チ明治二十五年法律第四號ヲ以テ發布ニナツテ居リマス、鐵道敷設法中改正ニ屬スルモノデアリマシテ、其中第二條中ノ神奈川縣下八王子ヨリ山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道ト云フ箇條ガアリマス、ソレヲ神奈川縣下神奈川ト修正スルト云フ政府案デアリマシテ、ソレカラ其次ニ同箇條中ニ中央線及北陸線ノ連絡線ノ中デ、岐阜縣下岐阜若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道ト云フ箇條ヲ修正シマシテ、二項ニ之ヲ分ツテ一ハ岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道、モウ一ツハ前項ノ線路ヨリ分岐シ若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ又第七條ノ鐵道敷設法中第一期鐵道、即チ第一期線ニ線入レルト云フ計畫ヲ豫定スル所ノ箇條デアリマシテ、其中詰リ第二期同箇條ガアツタノヲ第二期ガ改マリマシタ結果トシテ即チ第七條モ同文ニ修正スル所ト云フ法案デアリマス、大體ハ即チ是デアリマスガ、其趣旨トスル所ハ八王子ヲ起點トシテ名古屋ニ至ル鐵道ト云フモノハ主トシテ軍事ノ必要カラ起キテ敷設スル所デア

ル、然ルニ八王子ト云フ所ハ東京ヲ距ルコト何哩デアリマシタカ、即チ甲武鐵道ト云フ鐵道會社ノ線路ニ依ツテ八王子マデ行カナケレバナラヌコトニナツテ居ル、若モ將來有事ノ時、兵ノ運搬デアルトカ、或ハ兵器ノ運送デアルトカ云フ場合ニ當ツテ鐵道ノ主管ノ異ルガタメニ大ナル不便ヲ感ズルト云フコトデ、既ニ昨年一昨年ノ戰争ニ於テ屢々其困難ヲ見タノデアル、ソレデア

アルカラシテドウシテモ神奈川ノ官線ニ接續スル所ノ鐵道ハ軍事上ノ必要デア

アル、又モウ一ツハ工事ノ點カラ言フテモ最モ必要デアル、ソレハせめんと

當ツテ他ノ線路ニ依ツテ運搬シナケレバナラヌト云フコトニナルト、一方ハ官

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

鐵道敷設法中改正法律案 第一讀會ノ續

線アリ一方ハ私設會社アルカラ充分條件ヲ附シ充分命令ヲ與フルト云フコトガ出來ルニモ拘ラズ或ハ契約上唯安ニ命令ヲ與ヘルト云フコトモ出來ヌカラシテ、相當ノ向フニ迷惑ヲ蒙ラヌダケニシテ遣ラネバナラヌ、或ハ又種々會社ノ都合ニ依テコナラノ材料ヲ運搬スルコトカ何トカ云フ場合ニ當テ延期ヲ請フコトカ或ハ今日ハ省シテ與レト云フ請求ガナイトハ言ヘヌ、ソレハ私設會社トシテ即チ營利ヲ目的トスル私設會社ニ於テサウ云フ要求ノアルト云フコトハ無理ナラヌ話アル、シテ見レバ或ハサウ云フコトモ場合ニ依テハ許シテ遣ラネバナラヌコトモアル、シテ見レバドウシテモ八王子カラ先キノ鐵道ヲ敷クニ附イテハ必ズソレマデノ間ニ官線ヲ敷クト云フコトハ最モ今日必要アルト云フノガ政府ノ提出ノ理由アルヤウニ思ヒマス、ソレハ一應誠ニ尤ニ思ヒマシテ贊成ヲ表シタ、委員會ニ於キマシテハソレ等ノ點ヲ以テ此神奈川八王子間ト云フモノヲ官設ニスルト云フコトハ一人ノ不同意モ無カッタノデアリマス、然ルニ衆議院ニ於キマシテハ此八王子神奈川間ト云フモノハ否決ヲ致シマシテ矢張り……イヤサウデアアリマセヌ是其儘ニナッテ居リマス、併ナガラ此官設ト云フコトヲ……チヨイト考慮ヒラシタヤウデスカラモウ一度能ク見マス、此法律ノ第六號ト云フモノガアリマシテ是ハ則チ此比較線ヲ決定スル所ノ法案デアリマス、之ニ依ッテ之ヲ修正シテ政府案デハ東京府八王子トアルノヲ神奈川縣下神奈川ト修正シタ、是ハ衆議院ニ於テ否決致シマシタ、其理由トスル所ハ八王子神奈川間ハ既ニ橫濱高崎間ニ於テ私設ノ出願ガアル、此間ハ必要ト認メルケレドモ是ハ民設ニシナケレバナラヌト云フヤウナ理由デ之ヲ廢棄シタヤウデアリマス、シテ見ルト云フト敷設法案ノ中ノ神奈川縣八王子カラ名古屋ト云フノハ神奈川縣下神奈川ヨリ名古屋トナルト云フノハ即チ通ッテ居リマスケレドモ此決定法案ト云フモノハ否決シタカラ政府案トシテ實行スルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマス、前申シタ通委員會ノ結果ハ即チ政府ニ於テ之ヲ設定スベキノデアルト認タガ故ニ此修正案ノ中ニモ多少ノ修正ヲ加ヘテサウシテ之ヲ政府ニ於テ敷設スルコト云フ方針ヲ取リタイト云フノデ此今日ノ修正ガ出來タモノデアリマス、ソレカラ其次ノ多治見カラ岐阜ニ至ル鐵道ト云ヒマスルモノハハ一寸圖面ヲ以テ見マスルト尙ホ能ク分リマスルガ舊トノ所ハ名古屋岐阜ト云フヤウナ處ハ即チ今日敷設シテアル所ノ鐵道デアルカラ其先キノ多治見カラ岐阜ニ至ル鐵道ヲ敷クトサウスルト殆ド名古屋岐阜若クハ多治見ト云フ處ハ三角形ヲ成シテ居ル、ソレハ距離ノ上ニ餘程違ヒヲ生ズルカラ必要デアルト云フコトデアリマス、ソレカラ又北陸鐵道ノ連絡スル所ノ鐵道ニ於テハ即チ多治見カラ岐阜ニ至ル鐵道軌レノ線ヲ取ルカ知ラヌガ其線カラ分岐スルカ又若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ行ク此二ツノ比較ノ内ヲ取ルト斯ウ云フコトニ修正ニナッタノデアリマシテ、是モ相當ノ事デアリマスカラシテ之ニ附イテハ更ニ衆議院ニ於テモ異議ガナカッタ、貴族院ニ於テモ委員會ニ於テハ何等ノ異見モナイノデ之ガ採用ニナッタ、ソコデ第七條又ハ第二條ノ方ノ修正デアリマスルガ既ニ決定スベキ法案デアルモノガ衆議院デ否決ニナッテ其修正ト云フモノハ無イモノニナッテ居リマス、ソレデ神奈川縣下八王子ヨリト云フノト又ハ御殿場ヨリト云フノト二線ガ殘ッテ矢張り比較決定ガ出來テ居ラヌカラ茲ニ於テ第二條第七條ノ文面ヲ修正シテハ一本筋ニシテ

仕舞ッタ、其修正ハ神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道斯ウ云フ風ニシマシテ即チ御殿場ヨリ云々ト云フ所ヲ削ッテ仕舞ッタ、即チ是デ政府ニ於テ敷設ノ實行ガ出來ヤウト斯ウ云フ考デアリマシテ委員會ニ於キマシテハ是非官設トシナケレバナラヌト云フガタメニ此ノ如ク修正シタノデアリマス、其理由ニ附キマシテハ或ハ又質問等ガアリマシタナラバ此修正案ヲ出シタ所ノ諸君モ在リマス、私ハ之ニ附イテハ充分ノ責任ヲ持ッテ居リマセヌカラソレ等ノ諸君ガ充分ノ御答辯ガアラウト思ヒマス、報告ハ之ニ止メマス

○千阪高雅君 少シ委員長ニ御尋致シタ、此敷設法案ガ改正ニナリマシテ、ソレデ矢張り鐵道……二十七年六月ノ……六號ノ法律ト云フモノハ是ハ衆議院ニ提出ニナッテ衆議院デハ之ヲ既ニ修正ヲ……政府ノ修正ヲ否決シマシタカラ此法律ハ活キテ居ル法律ト考ヘマス、此法律ハ今ノ委員會ノ御報道ニ依テ見マスルト云フト是ハ棄置イテモ構ハヌ、殺サズトモ宜イ、斯ウ云フ御主意デゴザイマセウカ、是ニテイケルト云フ御見込デゴザイマセウカ、一寸ソコニハ本員ハ疑フ存シテ居リマス、御答ニ依ッテハ尙ホ又御尋ヲ致シマス

○公爵近衛篤磨君 其答辯ハ私ニ取ッテ甚ダ苦シイ地位デアリマスルガ併シ委員會ノ決議ノ理由ヲ申上ゲマス、御尋ノ如ク法律第六號ノ修正案ト云フモノハ衆議院デ否決ニナリマシタ以上ハ法律六號ハ無論生キテ居ル、併ナガラ根本タル鐵道ノ比較ガ一本筋ニ定マッテ神奈川縣下神奈川トナッタ以上ハソレト同時ニ法律六號ガ效力ヲ失フモノデアアル、即チ一本筋ニナッタ所デ第二條若クハ第七條ト云フモノハ現行ノモノデ鐵道敷設法ノ決定案ノ六號ハ自然ニ效力ヲ失フト云フ斯ウ云フ說デアリマス

○伯爵正親町實正君 唯今委員長ノ御報告ガゴザイマシタガ此修正案ト云フモノハ他ノ委員カラ提出サレタ譯デアリマスルカ委員長ニ於テドウモ修正ニ附イテ説明ヲ悉クナサレタ譯ニハイカヌカラ之ニ附イテノ説明ハ提出者カラ聽取ルヤウニト云フコトデアリマス、本員ニ於テモドウモ修正ノ理由ハ明瞭シナイ所ガアリマスカラ是ハ修正提出ノ御方カラ悉ク分ルヤウニ御説明ヲ願ヒマス

○千阪高雅君 ドウモ一寸分リマセヌ

○子爵曾我祐準君 一寸千阪君ノ發言デハゴザイマスガ唯今正親町君カラ御質議ニナリマシタコトハ本員ハ贊成デ……代ッテ致シマスガ……ト述フ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チ下サイ、千阪君ニ發言ヲ與ヘデアリマス

○子爵曾我祐準君 其前……正親町君カラ此案ヲ提出シタ者ガ之ヲ能ク知ッテ居ルニ依ッテ近衛公爵ニ代ッテ答辯スル者ガ有ルナラソレヲ承リタイト云フコトデアリマスガ、我々ハ提出者デアルカラ代ッテ説明明ヲ致シタイ、千阪君モ定メテ御満足デアラウト思ヒマスカラ一言申上ゲテ置キマスト述フ

○千阪高雅君 私ハドナタサンデモ宜シウゴザイマス、必ズ提出者ニ限リマセヌデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ其處ニ出マシテ答辯ヲ致シマセウデゴザイマスガ

宜シウゴザイマスカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス

(子爵曾我祐準君演壇ニ登ル)

○子爵曾我祐準君 先刻委員長近衛公ノ仰セラレマシタ通ニ委員會デモ異論ガアリマシタ本員等ハ此修正案ヲ主張シタ者デゴザイマス、ソレ故ニ此修正案ノコトニ附イテハ本員等ガ此責ニ當ルベキ者ト思ヒマスニ依ツテ是ヨリ答辯致シマス、何ナリトドウカ御質問ヲ願ヒマス

○伯爵正親町實正君 ドウカ今一應修正ニナツタ理由ヲ悉シク願ヒマス

○子爵曾我祐準君 修正ニナリマシタ理由ハ唯今近衛公曾カラ辯ゼラレタト心得テ居リマスニ依ツテ、太シタ違モゴザイマス、併シソレヲ御望トアレバ一通リ申上ゲマスガ此ハ王子鐵道ハ此ハ王子ヲ延ベマシテ神奈川ニ行クト云フコトノ國家經濟上ヨリ鐵道敷設上ヨリ最も大ナル軍事上必要アルト云フコトハ既ニ近衛公曾ヨリ懇々仰セニナリマシタ、諸君ハ之ニ御疑ハアルマイト思ヒマス、ソレカラ御疑ノアラウト思フノハ即チ先刻千阪君モ申サレマシタコト、思ヒマスガ之ニ添フテ居ル所ノ明治二十七年法律第六號比較線決定ト云フ法律ヲ政府ガ修正セント欲シテ衆議院ニ提出シマシタ、然ルニ衆議院ハ之ヲ破毀シタ、即チ修正ガ成立タヌノデアアル、此我々ノ修正シタ案ハソレニ關係ヲ持ツテ居リハシナイカ、即チ憲法ノ命ズル所デ一議院デ否決シタ事ハ之ヲ復活スルコトハ出來ナイト云フ斯ウ云フ御問デアアルト推察致シマス

(千阪高雅君左様ト述フ)

本ト此修正案ト申シマスルモノハ根本的修正デアルト云フコトヲ御記憶ヲ願ヒマス、鐵道敷設法ト云フモノハ發布ノ當時我々ハ全力ヲ盡シテ反對シタ、此法案ハ極メテ不完全ナルデアアルガ故ニ二十五年デアツタ我々ハ反對シタ、併ナガラ通過シテ法律ト爲ツテ今更致シ方ハアリマセヌ、從ハナケレバナラヌ、此敷設法ハ元來條章ヲ切ツテアルガ第一章第二條ニズツト列記シテアル、比較線モアレバ單純ニ比較ノナインモアリ、何處ヨリ何處ニ至ルト云フモアリ、何處ヨリ何處ニ至ルト云フ比較線モアリ或ハ比較線ニシナイノモアリ、是ハ豫定線トシテ列記シテアルニ止マル、是デハ實際上仕方ガナイ、即チ第二章第七條ニ至ツテ第一期線ト爲シテ居ル譯デアリマス、鐵道敷設法ハ單其他政府ガ實際施行スルノハ斯様ニシテ居ル譯デアリマス、鐵道敷設法ハ單純ニ列記シテ今ノ二條ニ列記シテアルバカリデ何ニモナラナイ、ソコニ籍ガアルバカリデ、其次ハ第七條ノ所ニ至ツテ一期線トシテハ是ハヤナル、併シ七條バカリデハ實行ハ出來ナイ、若クハ若クハ一ト云フ字ガ有ツテ二本デ切リ三本デ切り、若クハ二ト云ツテアルカラソレヲ決定シナケレバナラヌト云フ理由ガアル、ソレ故ニ特別ニ決定ノ法律ニシナケレバナラヌ、ソレハ二十七年六月、六號七號八號九號十號トズツト決定シテゴザイマス、例ヘバ唯今問題トナツテ居リマスルノハ即チ中央線ト云フモノハ八王子カラ行クベキヤ若クハ御殿場ヨリ行クベキヤノ比較線デアアル、ソレ故ニ實地ハ八王子カラ行クトカ御殿場カラ行クトカ決シテナケレバナラヌ、ソレ故ニ此法律ハ第七條中央豫定線比較線路ハ左ノ如キ線路ヲ取ルト書キ出シテ決定ト云フモノガ立ッテ居リマス、此決定ガ立ッテ而シテ後始メテ鐵道ガ敷カレルト云フコト

デアアル、斯ウ云フ籠ミ入ツタムザカシイ法律デアアル、元來ガ……、ソコデ今度政府ガ提出シタ案ト申スモノハ今申シタ所ノ第二條ニ第一之ヲ組入レルコトガ必要デアアル、ソレ故ニ政府案ノ第一豫定線ニ組入ル、所ノ文字ヲ變ヘテ即チ場所ヲ變ヘルニ依ツテ八王子ヲ神奈川ト改メ、籍ヲ豫定線ノ中ニ移シタ、併シ是ハ實際ニ於テ何ニモナラナイ、即チ第七條ニ至ツテ第一期トシテ著手スル方ノコトデ、赤い筋ヲ引テ衆議院カラ廻テ來タ所ノ第七條第一項ノ線路中神奈川縣下八王子ヲ神奈川縣下神奈川ニ改ムル、是ガ通過シテ始メテ實行サレル譯デアリマス、然ルニ又比較線ノ決定ト云フコトニ附イテ今一ツ殘リガアリマス、ソレ故政府ハ明治二十七年法律第六號鐵道比較線路決定ニ關スル法律中改正法律案ト云フモノヲ以テ衆議院ニ出シタノデアアル、然ルニ此方ハ又千阪君ノ言ハル、通衆議院デハ否決シタ、ソレ故ニ是ニハ誰モ手ヲ著ケヤウトハ申シマセヌ、何モ手ハ著ケマセヌ、憲法ノ命ズル所一院デ否決シタモノヲ敢テ如何トモスベカラザルモノハ何モシヤウトハ言ハヌノデアアル、今我々ガ委員會ニ於テ改正ヲ希望スル主意ト云フモノハ根本カラ改メテ行クト云フノデアアル、先刻モ申シタ通、此鐵道敷設法ト云フモノハ豫定線ヲ幾ラモ列記シテアル中ニ單純ニ何處ヨリ何處ニ至ルト云フノト何處ヨリ何處若クハ何處ト、若クハト云フ字ノ有ルノト無イノトアル、若クハト云フ字ノ無イノハ一本筋ノモノト見ナケレバナラヌ、今此第二條中ノ一項ト云フモノハ原ノ案デハ比較線ニナツテ居ル、御承知ノ通申スマデモナイ、即チ御殿場トハ王子ト云フモノ、比較線ニナツテ居ル今我々ガ改正セント欲スルノハ此比較線ヲ止メテ單純ナル一線ニスル、即チ單純ナルモノニスル、ソレハドウ云フコトヲスルカ八王子カラニスルカ、サウデハナイ今一ツ延バシテ八王子ニアラズ、神奈川ヨリ八王子ヲ經テ山梨縣云々ト云フ即チ根本カラ改メタルデアアル、此案ニシテ通過スレバ根本カラ改メタルニ依ツテ、彼ノ二十七年法律第六號比較線ノ決定ニ係ル法律ト云フモノハ勿論無効ニナル、無効ニナルコトハ知レタコトデアアル、併ナガラ之ヲ無効ニスルタメニスルト云フノザアナクテ根本カラ改メタルニ依ツテ此ノ法律ハ後ノ法律ノタメニ前ノ法律ハ效力ヲ失フ、ソレハ幾ラモ有ルコトデアアル、後ノ法律ト云フモノハ前ノ法律ノ效力ヲ失ハサスト云フコトハ當然ノ事デアアル、チツトモ怪マナイ、頗ル當然ノ事デアアルニ依ツテ衆議院ガ否決シテ云々ニ關シテハ分毫モ嫌ヒハナイ我々ハ信ズル、即チ根本カラ改メテ掛ルノデアアル、例ヘテ申サウナラバ今茲ニ議案トシテ出テ居ルモノニ就イテ一例ヲ舉グレバ彼ノ衆議院デ豫戒令ノ改正ヲシタ所ガ改正ガ成立ナカツタト云フ斯ウ云フ譯ガ一ツアルトシマセウ、ソレニ彼方デハ警察令ナラ警察令警察何トカ申シマシタナ、今度出マシタアノ警察令ヲ可決シタト致シマス、サウスルト豫戒令ト云フモノハ獨リデニ無クナツテ仕舞フ是ハ一モ嫌ヒハナイ是ハ別問題、法律ノ出所ガ違フ、ソレハ豫戒令ヲ修正シ掛ツテソレガ成立ナカツタノダカラ豫戒令ヲ改正スルヤウナコトヲシテハナラヌト云フト今度出マシタ警察何トカ云フ法律ハチツトモ議スルコトハナラヌヤウニナツテ來ル、ソレデ前キニアル法律ヲ後ノ法律ヲ以テ無効タラシムルコトハ決シテ惡イ事デハナイ、何モ差支ガナイ、斯ウ云フ考ヲ以テ此案ハ我々ガ賛成シテ委員會デ成立タシタノデアリマス

○千阪高雅君 ドウモ本員ニハ少シ分リマセヌ、今曾我子爵ノ御話ハ成程承

レバサウナルヤウニモ思ヘマスガ、全體此敷設法案ト云フモノハ子爵自ラ御話モアル通是ハ唯種々ノモノヲ列ベテ豫定線ニシテアル、其豫定線ニ入ッテアルカラコソシテ此比較線ガ即チ法律ヲ以テ決定ノコトガ定マツテアル、然ルニ其比較線ハ斯ウ云フ法律ノ二十七年六號法律ト云フヤウナモノガ出テ始メテ此比較線ガ決定スルコト云フコトニナルノデゴザイマス、然ルニ是ガ神奈川ト云フコトヲ又敷設法ニ入レマシテハ是ガ即チ又變ズルコトニナリマセウ、ソコデ斯ウ云フ一ツ決定ノ法律デ規定シナケレバ直ニ此第七條ヲ修正スルコト云フコトハドウモ穩當デナイト本員杯ハ信ジマスノデアリマス、ドウモ其……

(男爵小澤武雄君「質問デヤナイヤウデス」ト述フ)

質問デス、ソレデ委員會ノ方デハ宜シイト云フ御意見デゴザイマセウカ
○子爵曾我祐準君 今申シテ通苦シクナイノデアリマス、慥ニ苦シクナイト認メテ居リマス、何故ニ慥ニ苦シクナイカト云フニ今申ス通敷設法ニハ比較線ガ造ッテアルノヲソレヲ根本ヨリ單純ナル線ニ造リ變ヘル、ソレガタメニ出タ法律ハ皆ナ無効ニナリマセウ、物ガ變ルニ因ッテ比較線ニ關係シタ此前ノ法律ハ皆無用ニナリマセウ、單純ナル一線ニシテ仕舞フノダカラ比較線ノタメニ出タモノハ皆無効ニナリマセウ、即チ根本ヨリ之ヲ一線ニ仕舞ヘルト云フノデアリマスカラ……未ダ御不審ガゴザイマスナラバ序ニ辯シマス

○千阪高雅君 此案ニ就イテ一言致シタウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 御質問ナラバ宜シウゴザイマスガ併シ是ハ是カラ決ヲ採ルノハ第二讀會ヲ開クヤ否ト云フ決ヲ採ルノデゴザイマスガ修正ニ附イテノ御意見ハ一體其第二讀會ニ移ッテカラ修正ニ對シテ同意トカ不同意ト云フコトヲ御述ベニナル機會ガアラウト存ジマス

○千阪高雅君 修正説デハナイノデアリマス、私ハ是ハ第二讀會開クベカラズト云フ意見ヲ持ッテ居ルノデアリマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 開クベカラズト云フコトデアレバ是ハ廢スルト云フ御議論デゴザイマスナ

○千阪高雅君 左様デゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) ソレナラ宜シウゴザイマス、大體ノ御議論ナラ宜シウゴザイマス

○子爵由利公正君 大分人數ガ殖エマシタヤウデスガ未ダ定足數ニハ足リマセヌカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 由利子爵ハ委員會ノ方ヘ退キタイト云フコトヲ先刻御請求ニナツタノデゴザイマス、其節ハ定足數ニ缺ケマスヲ以テ止メテ置キマシタガ唯今ハ最早委員會ノ方ニ御退キニナツテモ定足數ニ差支ナイト存ジマス、別段御異議ナイト存ジマスニ依ッテ宜シウゴザイマス

○安場保和君 本員モ……

○男爵渡邊清君 本員モ……

(千阪高雅君演壇ニ登ル)

○千阪高雅君 此案ニ附イテ本員ノ聊カ意見ノ在ル所ヲ諸君ニ申上ゲマシテ御判斷ヲ請ヒマス、實ハ本員ニ於テハ此鐵道ニ多少ノ關係アル人間デゴザイ

マス、一番カニ番カノ請願ニナツテ居リマス高崎カラ八王子ヲ經テ横濱ニ達スルト云フ願人ノ一人デゴザイマス、依ッテハ瓜田ノ履季下ノ冠デ聊カ嫌疑モアル筈デゴザイマス、サリナガラ公明ノ諸君ニ事實ト實地ヲ御話シテ意見ノ在ル所ヲ申上ゲテ公平ナル御判斷ヲ得ルコトニ於テハ躊躇ナイコト、考ヘテ登壇ヲ致シマシタ、抑、此鐵道ヲ發起致シタト云フモノハ明治……

(子爵曾我祐準君「此鐵道トハ何デゴザイマスカ分リマセヌ」ト述フ)

武州鐵道、今申シマシタ

(男爵小澤武雄君「武州鐵道ノ事ハ此案ニ關係ハアリマセヌデセウ問題外デアリマセヌカ」ト述フ)

實ハ此關係カラ申シマセヌト……

(子爵曾我祐準君「今日ハ私設鐵道ノ許可會デアリマセヌカラ其段ハ御含ミヲ願ヒマス、官線鐵道ノ事デ、私設鐵道ノ願ヒデアリマセヌヨ」ト述フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 此問題ノ範圍内デ御述ベニナルヤウ……

○千阪高雅君 固ヨリ範圍内デアリマス

(子爵曾我祐準君「一寸忠告致シマスガドウカ貴族院ノ神聖ヲ瀆サヌヤウニ願ヒマス、ドウゾ貴族院ノ體面ニ拘ラヌヤウニ實ニ切望致シマス」ト述フ)

○子爵曾我祐準君「國家ニ大ナル關係ガアルモノデアリマス」ト述フ

(子爵曾我祐準君「一寸忠告致シマスガドウカ貴族院ノ神聖ヲ瀆サヌヤウニ願ヒマス、ドウゾ貴族院ノ體面ニ拘ラヌヤウニ實ニ切望致シマス」ト述フ)

委細承知致シマシタ、貴族院ニ於テ此衆議院カラ議決シテ廻ハシテヨシマシタモノヲ實ハ是シキノ事デ是ガ貴族院デ多數ヲ占メテ行ッタ曉ニハ交渉會ト爲ルダラウト本員ノ如キハ信ジマス、擬交渉會ト云フモノハ私ハ容易ニスベキモノデハナカラウ、重要ノ問題デアラナイイザ知ラズ些細ナシキノ事ニ交渉會ヲ開クト云フ惡例ヲ開イタナラバ隨分時々斯ウ云フ事ガ始マルダラウト考ヘマスルシ、且ツ又貴族院ノ方ニ於テ段々ニ又此項ノ法案ヲ見マスルト云フト豫算マデモ掘ミ合ッテ居ルノデゴザイマスカラ是ガ若シ交渉會デ互ニ軋軋シテ遂ニ結果ヲ得ヌト云フコトニ至リマスルト是ハ此法案ハ否決スルバカリデナク豫算ノ否決ヲ來タスカト云フ杞憂ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、果シテ乙號議案ノ豫算ガ否決ニナルト云フコトニ至リマスルト是ガタメニ他ニ關係ヲ澤山ニ起シテ來ルダラウト思ヒマス、不幸ニ是ヨリ大ナル莫シト云フ本員ノ如キハ考ッテ居ル、然ルニ斯ウ云フ議ヲ始メテ交渉會ノ起リト云フコトハ貴族院ガ衆議院ノ議ヲ重ンゼズシテ始マツタト云フヤウナ事柄カラ至リマスルト遂ニ他日各地ノ鐵道ノ成ラヌコトハ大ニソノ貴族院ノ責ニ歸ス

ルト云フコトヲ憂フルノデゴザイマス、又衆議院ニ於キマシテモ段々ニ開キマスルト夫多數ヲ以テ可決シタモノデゴザイマスカラナカク、容易ニイツモノ例ノ如ク製鐵費ノ事ニアレ或ハ新聞條例ノ事デアリ折合ハヌト云フサウ云フコトニデモナリマスルト云フト甚ダ他日ノ他ノ重要ナル總テノ豫算ガ成立チマセヌカラ乙號議案ダケ一體ノ鐵道ガ皆潰レテ仕舞フト云フ如キ結果ヲ來タスト云フコトヲ甚ダ憂フル者デアリマス、依テ此位ナ事ハ實ハ衆議院ニ御任セニナツテコチラノ方ニ餘リ干涉ヲシナイ方ガ宜カラウト云フ考ヲ持ッテ居リマスルデ、ソレデ此儀ヲ諸君ニ申上ゲテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 千阪君ハ寧ロ貴族院ノ議員ト云フヨリハ請願人ノ一人ト云フヤウナコトヲ御話シニナリマシタガ詰リ二讀會ヲ開クベカラズト云フ御主意ハ衆議院ガ大多數ヲ以テ此通リ極メタモノデアリカラ此處デ之ヲ改メルト協議會ヲ開クヤウニナル、サウスルト豫算マデ響イデ來ルコトデアリカラドウカハ衆議院ニ任セタイト斯ウ云フコトノヤウデアリマシタガ衆議院ガ大多數ヲ以テ極メタモノハ貴族院デハ手が著ケラレナイト云フコトニナリハセヌカト思ヒマスガソレヲ一ツ……

○千阪高雅君 サウデナイ事柄ニ依ッテハ宜シイ、事柄ニ依ッテハ衆議院ノ議ヲ重シテ宜カラウト思ヒマス、是ハ隨分人民ト競争ノ嫌ヲ持ッテモ居リマスカラ是シキノ事ハ衆議院ニ任セタイト云フ意見ヲ持ッテ居リマス

○子爵曾我祐準君 今度ハ私ノ方カラ質問致シマス、他ノ事ハ質問致シマセヌガ聽拾テナラヌ一言ガアツタカラ御尋致シマス、法案ニハ關係ヲ持チマセヌガ交渉會ヲ開イデハ困マルト云フ理由ヲ御尋申シマス

○千阪高雅君 交渉會ハ惡例ト云フ理由ヲ御尋申シマス

○子爵曾我祐準君 尙ホ分ラヌ、アナタガ初メ明言サレタ通國家ノ事デハ小事デアリガ一身ノ事デハ甚ダ重要ナモノダト云フヤウナ御話デアリマシタ決シテ小事デアリマシマシ……千阪君足下一身ノタメニハ……

○千阪高雅君 ソレハ一身ノ事ハ外ノ御話デゴザイマス、一身ノ重要ト云フコトハ感ゼヌノデゴザイマス、ソレハチト御聽達ヒデアリマセウ

○子爵堀田正養君 一寸質問致シマス、千阪君ハ少シ間違ッテ居ラレハセヌカト思ヒマス、ト言フノハ是ハ二讀會ヲ開クベカラズト云フ理由ヲ今御述ベニナルノデスカ、サウスルト衆議院カラ送付ニナツタモノヲ皆此處デ廢棄スルト、サウスルト矢張豫算ガ皆成立タヌト云フコトニナルノカ或ハ千阪君ハ能ク議案ヲ御覽ニナラナカツタノデアラウト存ジマス、八王子迄デ止メテハ王子カラ名古屋ニ至ル鐵道ノ費用ト云フノハ乙號議案ニ出テ居ル、ソレマデ皆廢スル、即チ此案ヲ全廢スルト云フタナラバソレモ出來ナイ、即チ千阪君ガ述ベルノハ第二讀會ヲ開イテ然ル後ニ述ベルベキ說デ今御述ベニナルノハドウモ御間違ッテ思フカラ御止メニナルヤウニ……

○子爵堀田正養君 サウスルト衆議院カラ送付ニナツタモノモ悉ク廢スルト云フ御議論デハナイノデスカ、衆議院ノ修正通りニスルト云フノデスカ、ソレガ分ラヌ衆議院ノ修正ニ御任セナサイト云フト衆議院ノ通りニスル事ニナル、二讀會ヲ開クベカラズト言フト皆廢棄スルト云フ事ニナル、ソレガドツチデアリカチツトモ分ラナイ

○千阪高雅君 イエ衆議院ノ修正通りニスルガ宜カラウト云フノデ、ソレデ私ハ是ヲ二讀會ヲ開クベカラズト云フ意見デゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂昭君) 本案第二讀會ヲ開クベキヤ否ヤノ決ヲ採リマセウト存ジマス、第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス

○男爵小澤武雄君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○小原重哉君 賛成

○男爵西五辻文仲君 賛成

○子爵岡部長職君 賛成

○船越衛君 賛成

○龍口吉良君 賛成

○鈴木傳五郎君 賛成

○子爵秋田映季君 賛成

○議長(侯爵須賀茂昭君) 小澤男爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第二讀會ヲ開クト云フ動議デゴザイマス、此動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、是ハ期讀ハ省略ヲ致サウト存ジマス、簡單ナル案デモゴザイマスル修正モ至ッテ單純デゴザイマスルニ依ッテ委員會ノ修正カ或ハ原案カノ決ヲ採ルコトニ致サウト存ジマス、併シ又模様ニ依ッテ再ビ修正說デモ出マスレバ其節分割致スコトニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

(左ノ議案ハ期讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

鐵道敷設法中改正法律案

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中央線第一項ノ線路中「神奈川縣下八王子」ヲ「神奈川縣下神奈川」ニ改ム

同條中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通り改ム

一岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道

一前項ノ線路ヨリ分岐シ若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富山縣下富山ニ至ル鐵道

第九條中「金六千萬圓ヲ金六千七百萬圓ニ改ム

○辻新次君 極ク一寸シタ修正デゴザイマスガ、即チ文字ノ修正ニ止マル所デアリマスガ併シ印刷ノ誤ナラバモウ別ニ申ス程ノコトモアリマセヌガ、若

シ印刷ノ誤アリマセケレバ同ジノ法律中ニ餘リ文字ノ異ナルモ體裁上
宜シカラスト思ヒマスカシテ一寸修正ヲ提出致シマス、此案ノ中ニ「同上
中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通り改ム」其「通り」ト云フ字ニ限ッテ「リ」ノ
字ガ這入ッテ居リマス、所ガ全體ニ這入ッテ居ラヌカラ此「リ」ノ字ハ削ル
方カト考ヘマス、ツレカラ……

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 辻君ニ御注意シマスガ左様ナ文字ノ上ノ修正ハ
別段御出シニナルノニ及バヌノデス、後トテ事務局デ居タヤウニ直シマスカ
ラ其邊ノ御心配ニ及バヌノデス

○辻新次君 モウ一ツハ「若クハ」ノ「ク」ノ字デス、ツレデハ其節ニ……

○田中芳男君 決テ御採リニナリマスニ附イテ本員モ聊カ伺ヒタウゴザイマ
スガ朱テ修正致シマシタノト黒テ修正致シマシタノト有リマスガドレヲ以テ
政府ノ原案、ドレヲ以テ修正案ト致シテ宜シウゴザイマスカ其區別ヲ伺ヒタ
ウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 是カラ決テ採リマスノハ先ヅ一番ニ委員會ノ修
正ニ就イテ決テ採ル積デアリマス、若シ委員會ノ修正ガ少數ニ陷リマスレバ
即チ衆議院ノ修正シテ本院ヘ廻シタモノガ原案ニナッテ居リマス、原案ノ
決テ採ルヤウニナリマス、他ニ御發議モナイト存ジマスニ依ッテ表決ニ付シ
マス、即チ全部ガ問題ニナッテ居リマス、委員會ノ修正ヲ可トスル諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス

○男爵小澤武雄君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ望ミ
マス

○子爵曾我祐準君 贊成

○船越喬君 贊成

○子爵立花種恭君 贊成

○瀧口吉良君 贊成

○鈴木傳五郎君 贊成

○子爵日野西光善君 贊成

○角田林兵衛君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小澤男爵ヨリ議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會
ヲ開クト云フ動議デゴザイマス、贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、直ニ第二讀會ヲ開キマス、
即チ第二讀會ノ決議案ガ原案ニナリマス、原案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒ
マス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

明治二十五年法律第四號鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條中央線第一項ヲ左ノ通改ム

一 神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子山梨縣下甲府及長野縣下諏訪ヲ
經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

同條中央線及北陸線ノ連絡線ヲ左ノ通り改ム

一 岐阜縣下多治見ヨリ岐阜ニ至ル鐵道

一 前項ノ線路ヨリ分岐シ若クハ長野縣下松本ヨリ岐阜縣下高山ヲ經テ富
山縣下富山ニ至ル鐵道

第七條第一項ヲ左ノ通改ム

一 中央線定線ノ内神奈川縣下神奈川ヨリ東京府下八王子山梨縣下甲府及
長野縣下諏訪ヲ經テ西筑摩郡ヨリ愛知縣下名古屋ニ至ル鐵道

第九條中金六千萬圓ヲ金六千八百萬圓ニ改ム

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、本案ハ可決セラレマシテゴ
ザイマス、是ヨリ議事日程ノ第二ニ移ル管デゴザイマスガ最早正午ニ近ウゴ
ザイマスニ依ッテ一應休憩ヲ致シマス

午前十一時五十分休憩

午後一時二分開議

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 各特別委員會ニ於キマシテ委員長副委員長選舉
ガゴザリマシタニ依ッテ其氏名ヲ書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官長朗讀)

航海獎勵法案外一件特別委員

委員長

副委員長

臨時軍事費特別會計ニ關スル法律案特別委員

委員長

副委員長

債金特別會計法案特別委員

委員長

副委員長

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 會議ニ移リマス、明治二十八年度特別會計歲入
歳出豫算追加案、乙號、政府提出、衆議院送付、會議ヲ開キマス、豫算委員
長報告

○子爵谷干城君 一寸豫算委員會ヲ開キタイト思ヒマスガ、宜シウゴザイマ
スカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 暫ク御待チニナッテ宜カラウト思ヒマス、定
足數ニ差支ヘマス

(公爵近衛篤磨君演壇ニ登ル)

○公爵近衛篤磨君 御報告ヲ申シマスルガ其前ニ當リマシテ此議案ノ少シ分
リ惡イ所ガアラウト存ジマスルカラ御注意マデニ申シマス、是ハ元ト政府案
ガ出マシテ政府カラ出マシタ後ニ政府ガ更ニ訂正ヲシタ分ト又衆議院デ修正
ヲ致シマシタ分トツレカラ又此貴族院ノ豫算委員會ニ於キマシテ修正致シマ
シタ分ト餘程錯雜シテ居リマスガ此中ノ黒イ棒デ消シタ分ハ是ハ政府ガ訂正
シタ分デアリマシテツレカラ其横ニ朱字デ書イテアリマスノガ衆議院ノ修正
案デアリマス、サウシテ、貴族院ノ豫算委員會ニ於キマシテ修正致シマシタノ

ハ更ニ又朱字デ書イテアリマシタ分ヲ消シテ又朱デ消シテアル分ヲ
活カスノデアリマスカラ餘リ錯雜致シマスルカラ印刷ニハサウナツテ居リマ
セヌクレドモサウ云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、全體本案ハ唯今午前ノ會議
ニ於キマシテ議決致シマシタ所ノ法律案ト關係致シテ居リマス所ノ豫算デア
リマス、前ノ法案ガ貴族院ニ於キマシテ今朝議決ノ通ニナリマシタ以上ハ此
豫算ノ結果ト云フモノモ自ラ此ノ如クナルベキ筈ト云フモノハ申スマデモナ
イ話デアリマス、是ハモウ別段ニ深イ説明ヲ要スルマデモナイノデアリマシ
テ即チ神奈川、名古屋間ト書イテアル所ヲ八王子ト修正ニナツテ居ルガ此ノ
神奈川ト云フヲ活カシ金額モ亦隨テ其間ニ敷設ノタメニ要スル金額ヲ活
カシテ衆議院ア削除致シタ方ヲ活カスト云フニ過ギナイノデアリマスカラ別
段ニ深イ説明ヲ要スルマデモゴザイマセヌカラ説明ハ是ニ止ママス
○議長(侯爵須賀茂昭君) 此追加案モ別段籠ミ入ツタル案デモゴザイマセ
ズ、簡單ナル案デゴザイマスニ依ッテ歳入歳出及款項ヲ連ネテ問題ニ供サウ
ト存シマス……

(異議ナシ異議ナシ「ト呼フ者アリ」)
……然ルニ唯今委員長ノ申述ベラレタ通隨分錯雜シテ居リマスカラ、朗讀ヲ
致サセマス、即チ甲號ヨリ始メマス

(山本書記官朗讀)

大藏省兩省所管

鐵道公債金

歳入

大藏省所管

第一款 鐵道公債金 金百萬圓

第一項 鐵道公債募集金 金百萬圓

歳出

遞信省所管

第一款 鐵道建設費 金百萬圓

第一項 福島青森間鐵道 金拾五萬圓

第二項 敦賀富山間鐵道 金貳拾五萬圓

第三項 八王子名古屋間鐵道 金參拾五萬圓

第四項 篠ノ井鹽尻間鐵道 金貳拾五萬圓

(山本書記官) 委員會ノ修正ハ第三項ノ「八王子」トアルヲ「神奈川」
ニ改ム「ト述フ」

○子爵曾我祐準君 一寸念ノタメ申シテ置キマスガ、先刻委員長ノ報告デ大
概分ツタヤウデアアリマスガ、今神奈川ト云フ字ヲ除ケテ八王子トシテアリ
マスガ、委員會デアハ又神奈川ニシタイト云フ御議論デゴザイマスガ、サウス
ルト、之ヲ賛成スルト神奈川ト云フ所ニ復活シタ所ニ賛成スルヤウニナリマ
スナ

(「無論」ト呼フ者アリ)

(「議決」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵須賀茂昭君) 別ニ御發議モナイト存シマスニ依ッテ表決ニ付
シマス、豫算委員ノ修正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數
○議長(侯爵須賀茂昭君) 多數デゴザイマス、次ニ乙號ニ及ボシマス、是
ハ隨分長ウゴザイマスニ依ッテ別段ニ朗讀スル手數ニモ及バスト思ヒマス
ガ、即チ矢張全部ノ問題ニ供シマスガ、金額ノ所ニ於テ朱字デ書イテアルモ
ノガ、原案ノ黒字ノ所ニ再修正ニナツタモノト御覽ニナツタレバ宜シイノデ
アル、即チ朗讀ハ省略致シマシテ全部ノ問題ニ供シマス
(左ノ豫算案及豫算委員修正案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ
載録ス)

鐵道建設費

總額

金六千六百六拾四萬貳千四百參拾四圓

金四百五拾六萬圓

金六千貳百八萬貳千四百參拾四圓

此改定年額左ノ如シ

明治二十八年年度

金貳百五拾貳萬圓

金九拾五萬七千七百八圓

金九拾六萬八千貳百九拾貳圓

金參拾五萬圓

金貳拾五萬圓

明治二十九年年度

金四百五拾五萬圓

金百貳拾萬圓

金百四拾萬圓

金九拾萬圓

明治三十年年度

金六百七拾七萬七千參百參拾參圓

金百八拾萬圓

金百六拾貳萬七千參百參拾參圓

金百九拾萬圓

金九拾萬圓

金拾五萬圓

金四拾萬圓

明治三十一年年度

金八百九拾四萬七千四百七拾圓

金貳百貳拾萬圓

金貳百九拾萬圓

金百五拾四萬七千四百七拾圓

金六拾萬圓

金百七拾萬圓

款 鐵道建設費
項 福島青森間鐵道
項 敦賀富山間鐵道
項 八王子名古屋間鐵道
項 篠ノ井鹽尻間鐵道
項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 敦賀富山間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 敦賀富山間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 敦賀富山間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

明治三十二年度
金八百八拾四萬七千六百七圓

金貳百拾萬圓

金四百六拾萬圓

金五百拾四萬七千六百七圓

金百六拾萬圓

明治三十三年度

金八百七拾四萬參千七百四拾七圓

金貳百四萬參千七百四拾七圓

金四百六拾萬圓

金五百拾萬圓

金六拾萬圓

明治三十四年度

金八百拾五萬圓

金四百六拾五萬圓

金百五拾萬圓

金貳百萬圓

明治三十五年度

金八百貳拾貳萬六千七百九拾貳圓

金四百貳拾萬圓

金百五拾貳萬六千七百九拾貳圓

金貳百五拾萬圓

明治三十六年度

金五百參拾六萬九千四百八拾五圓

金貳百五拾貳萬七千七百九拾壹圓

金貳百八拾四萬八千七百九拾四圓

(豫算委員修正案)

鐵道建設費

總額
金六千七百六拾貳萬五千九拾壹圓

內

金四百五拾六萬圓

金六千參百六萬五千九拾壹圓

此改定年額左ノ如シ

明治二十八年年度

金貳百五拾貳萬圓

金九拾五萬七千七百八圓

金九拾六萬八千貳百九拾貳圓

金參拾五萬圓

金貳拾五萬圓

明治二十九年年度

金四百五拾萬圓

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 海田市吳間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 姫路境間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 八王子名古屋間鐵道

項 姫路境間鐵道

金百貳拾萬圓

金百四拾萬圓

金九拾萬圓

明治三十年度

金六百七拾七萬七千參百參拾參圓

金百八拾萬圓

金百六拾貳萬七千參百參拾參圓

金百九拾萬圓

金九拾萬圓

金拾五萬圓

金四拾萬圓

明治三十一年度

金八百九拾四萬七千四百七拾圓

金貳百貳拾萬圓

金貳百九拾萬圓

金百五拾四萬七千四百七拾圓

金六拾萬圓

金百七拾萬圓

明治三十二年度

金八百八拾四萬七千六百七圓

金貳百拾萬圓

金四百六拾萬圓

金五拾四萬七千六百七圓

金百六拾萬圓

明治三十三年度

金八百七拾四萬參千七百四拾七圓

金貳百四萬參千七百四拾七圓

金四百六拾萬圓

金百五拾萬圓

金六拾萬圓

明治三十四年度

金八百拾五萬圓

金四百六拾五萬圓

金百五拾萬圓

金貳百萬圓

明治三十五年度

金八百貳拾貳萬六千七百九拾貳圓

金四百貳拾萬圓

金百五拾貳萬六千七百九拾貳圓

金貳百五拾萬圓

明治三十六年度

項 福島青森間鐵道

項 敦賀富山間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 敦賀富山間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

項 海田市吳間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 篠ノ井鹽尻間鐵道

項 海田市吳間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 海田市吳間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 福島青森間鐵道

項 神奈川名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 神奈川名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 神奈川名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

款 鐵道建設費

項 神奈川名古屋間鐵道

項 八代鹿兒島間鐵道

項 姫路境間鐵道

金六百參拾五萬貳千四百拾貳圓

款 鐵道建設費

金參百五拾萬參千四百貳拾八圓

項 神奈川名古屋間鐵道
項 姫路境間鐵道

○子爵堀田正養君 一寸伺ヒマスガ、明治三十六年度ト云フ所ノ朱書ニ黒字ヲ掛ケタノト、黒字ニ朱デ點ヲ掛ケタノト、朱イノトアリマスガ、サウスルト此委員ノ修正ニ同意スルト、黒イ字ニ點ノ掛ツタモノガ復活スルノデスカ

○公署近衛篤磨君 御話ノ通デアリマス、其朱字デ直シマシタノハ衆議院ノ修正デアリマスカラ、之ヲ貴族院ノ委員會デハ之ヲ消シテ朱ノ方デ消シタ方ガ復活スルノデアリマス

○子爵堀田正養君 分リマシタ

○議長(侯爵須賀茂韶君) 乙號全體ヲ表決ニ付シマス、豫算委員ノ修正ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵須賀茂韶君) 多數デゴザイマス
次ニ表題ノ所ヲ問題ニ供シマス、即チ特別會計豫算トアル所デゴザイマス、朗讀ハ省略致シマス

(左ノ表題ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

特別會計豫算

第一條 明治二十八年大藏遞信兩省所管鐵道公債金ノ歲入歲出豫算追加額及其款項ノ金額ハ別冊甲號歲入歲出豫算ニ據ルヘシ

第二條 鐵道建設ニ係ル繼續費ノ總額及年限年割額ヲ別冊乙號ノ通り改定ス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 是ハ別段御異議ナイト存シマスニ依ッテ原案ニ決シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 是ニテ特別會計豫算追加案ハ議決ニナリマシタ

○子爵谷干城君 如何デスカ、マダ足リマスマイカ、先刻願ヒマシタコトハ……

○議長(侯爵須賀茂韶君) 一寸御尋シマスガ、豫算總會デゴザイマスガ

○子爵谷干城君 分科調查會デアリマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 分科會デアリマスガ

○子爵谷干城君 エー
○議長(侯爵須賀茂韶君) 唯今デアレバ差支ナイト存シマス、宜シウゴザイマス

(此時委員退席ス)

○子爵酒井忠彰君 本員モ分科會ヲ開キタイト存シマスガ、如何デスカ、五名ダケ退キマスノデスカ……五名ダケ退ケバ宜シウゴザイマス

○議長(侯爵須賀茂韶君) 此上御退席ニナツテハ定足數ニ差支ヘマス、豫算案ノ議定細則第十四條ト云フ所ニ「歲入歲出ノ部ヲ議シタル後豫算委員ヲシテ豫算案ノ全體ヲ整理シ之ヲ議院ニ報告セシムヘシ」ト云フコトガアリ

マスルガ、唯今議決ニナリマシタ如キ案ニ於テハ別段ニ整理ヲ要スルコトハハ存シマセマスガ、併シ規則ニアルコトデゴザイマスカラ、ソレダケノコトハ一應申シテ置イテ御異議ナイカラ確メテ置キマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(侯爵須賀茂韶君) 御異議ナシト認メマシテ、即チ是レダケハ省略ニナリマス、次ニ市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ヲ開キマス朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治二十九年二月六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵須賀茂韶殿

○議長(侯爵須賀茂韶君) 此法案ハ修正案ガゴザイマスニ依ッテ、唯今朝讀ニナリマシタダケニ止メテ置キマス、省略致シマス

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス)

市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法

第一條 市町村立尋常小學校及高等小學校ノ正教員及准教員ニシテ五箇年以上同一學校ニ勤續スル者ニハ國庫ヨリ年功加俸ヲ給ス

第二條 年功加俸ハ五箇年勤續シタル者ニ本俸ノ百分ノ十五ヲ給シ後五箇年ヲ加フル毎ニ更ニ百分ノ十ヲ加ヘ百分ノ三十五ニ至リテ止ム

第三條 此ノ法律施行前ヨリ勤續スル者ニ對シテハ明治二十三年勅令第二百十五號小學校令發布後ニ於ケル勤務ノ月ヨリ其ノ勤續年數ヲ起算ス

第四條 明治二十三年勅令第二百十五號小學校令施行前又ハ同令ヲ施行セサル地方ニ於ケル訓導及訓導ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル正教員トシ其ノ授業生及授業生ノ資格アル學校長ハ此ノ法律ニ於ケル准教員トス

第五條 學校ノ廢止若ハ學校編制ノ變更ニ因リ他ノ學校ニ轉任シ又ハ同一ノ事由ニ因リ退職シタル後六十日以内ニ他ノ學校ニ就職シタル者ハ仍勤續ノ例ニ依ル

第六條 兵役ニ服スル爲其ノ職ヲ去リタル者兵役ヲ終リタル後九十日以内ニ更ニ就職シタルトキハ前後ノ在職年數ヲ勤續年數ニ通算ス

第七條 年功加俸ハ明治二十三年法律第九十號市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法ニ規定シタル諸給與及納金ノ關係ニ於テ本俸ニ加算ス

第八條 市町村立小學校組合及區ハ寄附又ハ其ノ他ノ名義ヲ用井實際ノ支給額ヲ本俸額ヨリ低減スルコトヲ得ス但勅令又ハ省令ノ規定ニ依ルモノハ此ノ限ニアラス

第九條 此ノ法律施行ノ爲ニ必要ナル規則ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條 此ノ法律ハ明治二十九年十月一日ヨリ施行ス

附則

貴族院議事速記第十八號

明治二十九年二月十二日 市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案 第一讀會

(國務大臣侯爵西園寺公望君演壇ニ登ル)

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 諸君、此法案ハ第五回帝國議會ニ於キマシテ衆議院ニ提出ニナリタモノデアリマスルガ當時不幸ニシテ議院解散ノタメ遂ニ此貴族院ノ議場ニ現ル、ニ至ラズシテ止ミマシテゴザリマス、爾來此法案ヲ教育社會ニ在リテ最モ熱望サレテアツタモノト考ヘマス、本日ハ幸ニ衆議院ヲ通過致シマシテ本院ノ議場ニ現ハル、ノ時機ニ達シマシテ本大臣ノ甚ダ榮ト致スコトゴザリマス、此法案ノ精神ハ小學校教員ヲ優待シテ國家ガ小學教育ニ重キヲ置クノ實ヲ示シ以テ其教員ヲ得ント欲スルノデアリマス、又小學教員ノ地位ヲ固クシテ永ク同一學校ニ勤續セシメント欲スルノデアリマス、抑、教育事業ニ在リテ殊ニ小學教育ニ在リテハ教員カ永ク同一學校ニ在ルト云フコトハ甚ダ必要デアルト云フコトハ申スマデモナイコトデアリマスルガ我國ノ有様ハ既往ノ經驗ニ依リマスト教員ガ同一學校ニ五六箇年モ勤續シテ居タト云フノハ全數ノ三分ノ一ニモ上テ居ラヌノデアリマス、又全國ノ小學學級ノ數ニ配テ見マスルト正教員ノ不足ガ今日二萬人程有ルト云フ有様デアアル、斯ノ如キノ有様デアリマスカラ今日斯ノ如キ法ヲ設ケテ是ガ矯正ノ途ヲ講ズルト云フコトハ最モ急務ノ事デアリマス、此法案ハ第五回帝國議會ノ頃ニ現ハレマシタ以來世間デモ屢々問題ニナリテ居リマシテゴザイマシタ所ガ此度出マシタ法案ト當時ノ法案トハ少々相違ノ廉ガアリマスカラ或ハ諸君ノ中ニハ御疑ヲ存シテ居ラル、方モ有ルカモ存シマセデ一寸一言附ケテ申シテ置キマスガ元ノ法案デ見マスル其相違ノ重ナル點ハ加俸ヲ給スル所ノ年功ノ起算點ガ違フテ居リマス、ツレカラ月額二十五圓以上ヲ取ル所ノ教員ニハ加俸ヲ與ヘヌト云フ規定デアツタノヲ改メテ此度ハ矢張與フル事ニ致シマシタ、此二點ガ重モナル相違デアリマス、初メ起算點ヲ變ヘタ所以ト云フモノハ當時第五帝國議會ノ頃ニハ餘程激烈テ起算點ヲ定メテ置カヌト此恩典ニ浴スル者ガ無カツタト云フノデアリマスガ今日ニ至リテハ此法案ノ通ニ改メシテ丁度適當ノ事ト考ヘマスカラ改メマシタ、ツレカラ二十五圓以上ヲ取ル教員ニ及ボスト云フ譯ハ元來此度ノ法案デ見マスルト是ハ獎勵ノ意味ヲ執リマシテ即チ年功ニ酬ユルト云フ主義ヲ執ツタノデアリマス、薄給ナルガ故ニ之ヲ救助スルト云フ意味ニ取ラナカツタノデスカラ改メマシタ、一寸ト附ケ加ヘテ是ダケノ事ヲ申置キマス、此法案ハ餘程渴望サレテ居ル法案トモ考ヘマス、又追加豫算ノ都合モゴザリマスカラ速ニ議決ニナリマシテ本院ヲ通過セシコトヲ希望致シマス

○久保田讓君 文部大臣ニ一寸質問致シマス、本法案ニ附キマシテ文部大臣ヨリ唯今大要御説明ガアリマシテゴザイマスガ本員尙ホモウ少し大體ニ溯リテ文部大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト思フノデゴザイマス、其事ハ此法案ハ本員杯ノ見所ニ依リテハ甚ダ規模ノ小サイ案デアツテ小學校ノ國庫カラ補助スルト云フ補助法案ノ端緒トシテハ實ニ小サイ規模ノヤウニ考ヘラレル、且ツ又甚ダ姑息ノ案デアルト本員ハ考ヘマスノデアリマス、ツレ故ニ大體文部大臣ハ小學校ノ教育施設ニ就イテ將來如何ナル計畫ヲ以テ小學教育ヲ普及セシメ且ツ完全ニ其結果ヲ得ルト云フ御見込デアリマス、即チ此法案ハ其計畫ノ如何ナル點カラシテ割出サレテ此法案ヲ御出シニナツタ譯デゴザリマス、大體此事ヲ第一ニ伺ヒタイ、第二ニハ現今ノ法令即チ小學校令等ノ關係

ニ付テ大體此法案ニ付テ伺ヒタイ、又第三ニ此法案ヲ是非必要トスル所ノ必要ノ點モ伺ヒタイ、併ナガラ第二第三ハ追々伺ヒマス、先ヅ以テ小學教育ニ就イテ文部大臣ハ將來唯今モ御話ニナル通二萬人ノ就學兒童ノ就學ヲ致サズシテ居ル者ガアル、ツレテ就學セシムルノ方法……就學兒童ガ二萬人デヤナイ教員ガ二萬人不足シテ居ル其二萬人ヲ補充スル所ノ方法並ニ三百萬人許リノ學齡兒童ノ未ダ學ニ就イテ居ラヌノハ如何ナル計畫ヲ以テ將來此普通教育ヲシテ普及セシメル方法ヲ執ラレマス、第一ニツレテ伺ヒタイ

(政府委員牧野伸顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧野伸顯君) 唯今久保田君ヨリ小學教育普及ニ就イテ大體ノ御尋デアリマス、今日ノ場合ニ於キマシテ普通教育ノ不充分ナル點ノアルコトハ當局者ニ於テモ認メテ居ル所デアリマス、故ニ其不充分ナル點ニ向テ改良ヲ施スコトニ就イテハ色々考案中ノコトモアリマス、サリナガラ此教育事業ヲ擴張致シマスルニ就イテハ孰レ經濟ト關係ヲ持チマスル故ニ唯今ノ場合ニ於テハ政府ノ經濟上此唯今提出ニナリテ居ル所ノ年功加俸案ヨリ此以上ノ事ハ今日經濟上ノ都合ニ於キマシテ出來ヌノデアリマス、尙ネ校舍ノ狹隘ナル事、又就學費ノ額ノ多イタメニ貧民等ニ於テ就學スルコトノ出來ナイト云フヤウナ事、又教員ノ不足ト云フヤウナ事ニ於キマシテハ別ニ考案ヲ立ナケレバナラヌ場合デアリマシテ是等ノ事ハ隨分問題モ廣イコトデアリマスルカラ計畫ノ立チ次第、經濟ノ都合モ考ヘテ追々提出ニナリ、本院ノ協贊等ヲ得ルコトモアリマセウト考ヘマス、此小學教員年功加俸案ハ姑息ノ案デアル、規模ノ小サナ案デアルト云フ御意見デアリマスルガ、成程モット充分ナコトカラ考ヘマシタナラバ或ハサウ云フ觀察モ下サレルカモ知レマセヌガ、サリナガラ此法案ガ幸ニシテ可決致シマスレバ追々ハ六十萬以上ノ國庫ノ負擔ニナリマスルノデアリマス、其效能ニ至リテハ餘程教育上ノ改良ヲ遂ゲル目的デアリマス、大略

○久保田讓君 議長、續イテ……唯今御答デアリマシタガ、詰リ唯今ノ御答ヲ承ルト別段小學教育ヲ普及サセルニ就イテノ御計畫ト云フモノモ分リマセヌデアリマシタ、唯經費ノ支出ヲ許サヌニ依リテ今日ノ場合ニ於テ已ムヲ得ズ此ノ如キ方ヲ執ツタト云フ御趣意ニ承リマシタガ、本員杯ノ考ヘル所ニ依レバ、此案ハ即チ先刻文部大臣モ述べラレタ通ニ三年前ニ井上文部大臣ガ計畫シテ下サツタ案デアアル、即チ其當時ニ在リテハ如何ナ有様デアリマシタカ、帝國議會ニ於テモ經費節減ト云フコトノミヲ主張シテ國家ニ必要ナル所ノ軍艦製造費ヲモ否決シタヤウナ場合デアツタノデ、其當時ニ在リテハ國家ニ必要ナル小學教育ノタメニ六十萬或ハ八十萬ノ金ヲ支出スルコトハ實ニ非常ナコトデアツタラウ、當時ノ文部大臣ノ辛苦經營サレタ有様ハ察スルニ餘アリ、然ルニ今日ノ有様ハ如何デアリマス、即チ此帝國議會ノ開會ノ初ニ在リテ畏クモ 至尊陛下ノ詔モ有ルデアリマス、ツレハ多分御承知デモアルデアリマセウ、戰後ノ經營トシテ國運ノ伸張國家ノ發達ニ關シテ特ニ殖産興業並ニ教育ニ關シテ廟議ヲ盡サセラレタコトハ詔ニモ明ニナツテ居ル、且ツ總理大臣、大藏大臣モ衆議院ニ臨ンデ戰後ノ經營トシテ教育ハ實ニ國家ノ必要具デアルト云フコトヲ縷々述べラレテ居ル有様デアアル、又一般ノ有様ハ如何デアアルカ、實ニ昨年ノ戰捷ト云フモノハ種々ノ原因ハアルガ免ニ角教育ト云フモノガ餘

程戰捷ノ重キ原因ヲナシテ居ルト云フコトハ皆認メテ居ル、即チ本院ニ於テモ或ハ衆議院ニ於テモ償金ノ十分ノ一ヲ小學教育ノ基本金トスルガ宜イト云フコトヲ建議シタヤウナ有様デアッテ……

〔子議舟橋達賢君、簡單々々ト呼フ〕

……實ニ大切ナ問題デアリマスカラ、成ルベクドウカ充分ニ述べルヤウニ致シタイ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 併シ一寸久保田君ニ御注意致シマスガ御意見ヲ御述ベニナル場合デゴザイマセヌカラ……

○久保田讓君 質問デアリマス、併シ此ノ如キ大キナ問題ニ對シテ左様ニ簡單ナ譯ニハ行キマセヌ、ソコデ右様ナ場合デアリマスカラシテ經費ノ金ガ無イト云フヤウナコトハ甚ダ分ラナイ、現ニ本年ノ豫算ハ如何デアリマス、一億五千万ト云フ歳出ノ豫算デアアル、此位ノ豫算デアッテ且又事業公債ヲ申シテ一億三千万餘ノ公債モ募ルト云フヤウナコトデアアル、右様ナ計畫ヲシテ殖産興業ナリ教育ナリ國運ノ伸張國家ノ發達ニ關スルコトニ就イテハ非常ナ計畫ヲ以テ廟議ガ盡サレテアル、此際ニ臨ンデ此國家教育、一國ヲシテ文明ナラシメ又隆盛ナラシムル普通教育ノメニハ百万ニ二百万ノ金ヲ使フコトハ何ノ經費ガ足りスト云フコトハナイ、甚ダ疑ハシイコトデアアル、唯六十萬ト云フノハ二三年前ノ計畫デアッテ今日ノ如キ歳出デアリ且戰後ノ經營ト云フ必要ノ計畫ニ對シテハ甚ダ規模狹小ト云フノデアリマス、故ニ願クハ詔ニ對シテモ亦廟議ヲ盡サレタコトニ就イテモ今後普通教育ヲ普及セシメ、サウシテ完全ナ國民ヲ拵ヘルコトニ就イテ文部大臣ガ如何ニ計畫シテ居ラル、カ其計畫ヲ承リタイ、本員ハ願クハ文部大臣ヨリ直ニ承ルヤウニ致シタイ

(政府委員牧野伸顯君演壇ニ登ル)

○政府委員(牧野伸顯君) 尙ホ御答致シマスル、教育上ニ就イテ頗ル御熱心ノ御意見ハ承知致シマスデアリマスルガ、普通教育ノ計畫上ニ關スルコトハ先刻モ申シマシタ通是ハ問題頗ル廣ク又關係モ多イコトデアリマスルカラ、計畫ノ極ツタ以上ハ孰レ公ニ提出シテ御協賛ヲ得ルコトモアリマスルガ、目今色々考案中ニ屬スルコトヲ今此所デ申述ベルコトハ出來マセヌデアリマス、尙ホ次第ニ依リマシテハ御質問書デモ御出シ下サタラ一層明瞭ニ御答スルコトガ出來ルカモ知レマセヌ

○久保田讓君 文部次官デハ御答ノナイノハ御無理ハナイ、文部大臣モ御出席ニナツテ居ラレマスカラ本員ハ文部大臣ニ質問致シタノデアアルガ御答ガナケレバ仕方ガナイ、苟モ是ハ國家ノ大切ナ問題デアアル、然ルニ文部大臣トシテ計畫ノナイト云フコトハ甚ダ怪シカラヌ話、又計畫ハアルガ此所デハ言ハレヌト云フノハ本員甚ダ解シ得ナイ、併ナガラ御答ガナケレバソレマデアアル、次ニ第二ニ御尋致シマセウ、第二ノ御尋ハ即チ此問題ト現行ノ法令ニ關係シタ問題デアリマス、現行法令即チ小學校令デアリマスガ小學校令ノ第四十三條ニハ市町村立小學校ノ設置ニ關スル市町村杯ノ負擔ノ概目、負擔ヲセヌナラヌト云フ概目ガアル、ソレニハ小學校員ノ俸給旅費ト云フモノハ市町村デ負擔ヲセヌナラヌコトニナツテ居ル、而シテ四十七條四十八條四十九條ニ於テ市町村ニ於テ若シ資力ガナカッタ、即チ市町村ノ資力ノ足りナカッタトキハ郡ハ郡ノ費用ヲ以テ補助ヲ與ヘルト云フコトデ又郡デ補助ヲ致シマシテ

モ尙ホ郡モ力ガ足ラヌト云フトキニハ府縣ハ縣デ補助ヲ致スト云フコトデアルト云フノハ即チ此小學校員ノ經濟ノコトニ附イテハ現行小學校令ハサウ云フ主義方針ヲ取ツテ小サイ所ノ小學校ハ町村デ負擔スルノデアアル、併シ町村ノ力ガ定ラヌトキハ郡デ補助スル、郡デ往カナカッタトキニハ縣デ補助ヲスル、此處マデアリマス、之ヲ以テ推シテ考ヘマスレバ縣デ力ガ足りナカッタトキハ國庫デ補助ヲスル順序デアアル、ソレガ即チ現行法律ノ主義方針ト致シテ居ルコト、考ヘマス、然ルニ此法ニ依レバ町村ノ力ガナカッタトキハ直ニ國庫カラ補助ヲ與ヘル、此方針ヲ御變ヘニナルノカ即チ小學校令ニ改正ヲセラル、ノデアアルカ、如何デアアルカ其コトニ付テ御尋ヲシマス

(政府委員木場貞長君演壇ニ登ル)

○政府委員(木場貞長君) 御答申シマス、小學校令ハ勅令デゴザイマシテ、此度ノ法律ガ出マスレバ無論法律ダケニ影響ハ小學校令ガ受クル譯デアリマス、併ナガラ此法律ガ直ニ小學校令ノ四十三條外二三箇條ト抵觸スルカト申スト抵觸ハシマセヌ積デアリマス、打消シハ致シマセヌ、原則其モハ矢張現行ノ小學校令其儘デアリマス、併ナガラ小學校令ニ規定シタ所ノ原則ハ保ツテ居ナガラ町村ノ將來ニ盡スベキコト、或ニ郡ノ府縣デ資力ガナイ市町村ヲ補助スル必要ガアリ、又實際ヤルコトヲ希望スルト同時ニ教員ノ俸給ヲ今著シク増加スルコト云フコトハ餘程望ガナイ、殊ニ町村ハ經濟ヲ異ニシテ居リマスカラ、俸給上ノ關係カラ甲ノ町村ヨリ他ノ町村ニ轉任スル教員ガ少イトハシマセヌ、是等ノ弊ヲ防グニハ國庫ヨリ年功加俸ヲ與ヘマスレバ、一ツノ町村ニ比較的ニ長ク居居ハルヤウニ……

○久保田讓君 サウ云フコトヲ御尋ネ申スノデアリマセヌ、即チ町村ノ力ガ足ラヌトキハ郡デ補助ヲシ郡ノ力ガ足ラヌトキニハ縣デ補助ヲスル、斯様ナ順序ニナツテ即チ此小學校令ヲ……是マデ既往ニ於テ町村ノ力ガ足ラナカッタトキニ縣ヤ郡デ補助ヲ與ヘタコトガアリマスカドウデアリマス

○政府委員(木場貞長君) 御答致シマス今申シマスル通小學校令ノ原則ハ變ヘナイ、最初御答申シタ通變ヘナイ、現在ノ所デハ郡ヤ府縣デ補助シタ所ガ確カゴザイマス、併シ其數ハ極メテ少ナウゴザイマス、少ナウゴザイマスケレドモ是マデアリマシテ居リマス、將來モ補助ヲ與ヘル必要ガ生ジヤウト思ヒマスカラ、此原則ハ破ル考ハ更ニナイ

○久保田讓君 ソレデ分リマシタ、尙ホ一ツ御尋シマス、ソレデアアルナラ本員ノ考デハドノ位デアリマス、千兩アリマスカ二千兩アリマスカ……

○政府委員(木場貞長君) 至ッテ少ナウゴザイマス

○久保田讓君 ソレカラ第三ハ本案ヲ必要トスル理由ヲ御尋シマス、即チ本案ヲ必要トセラル、所ノ理由書ハ茲ニ附屬シテ居リマスガ、此理由書ニ附イテ御尋シタイ、全體此理由書モ矢張此四五年前ニ出來マシタ理由ト同ジモノヲ其儘今日御提出シニナツタノデ、今日ノ有様ト實際符合シテ居ラヌノハ誠ニ明ニシテ證據ガ澤山有ル、此處ニ書イテアルノニ「町村ハ既ニ餘力ナキモノ、如シハ、町村ノ負擔ハ既ニ大變重クテ町村ハ既ニ餘力ガナイモノトシテ其結果トシテ正教員ノ俸給ハ九圓ニ過ギヌ、准教員ハ五圓ニ充タズト書イテアル、是ハマルデ嘘デアアル、コンナコトハナイ、何ゼト申セバ明カニ證據ガアル、併ナガラ本員モ文部大臣カラ年報ヲ貰ツテ居ル、大事ナ案ト見ルカラ餘程

骨ヲ折テ見マシタ、所ガ此處ニ書イテアルノハ三年前ニ井上吏部大臣ガ書イタ理由書ト當年ノト違テハ居ラス、是デ吏部大臣ノ御計畫ガアルカナイカ餘程推測ガ難カッタカラ先刻御尋ヲ申シタ、諸君能ク御記憶ヲ願ヒマス、井上吏部大臣ガ出イタトキノ二十五年ノ年報ガ有ル、其時ノモノガ此處ニ書イテアル、正教員ガ全國平均九圓、丁度一年デ百九圓ニナツテ居ル、即チ一箇月九圓ニ過ギヌ、ソレカラシテ准教員ガ五十九圓、即チ五圓ニ充タヌ、今年吏部大臣カラ御覽ヒ申シタ年報ハ正教員ガ百十八圓、即チ一寸十圓ニナツテ居ル、ソレカラシテ准教員ガ六十四圓ニナツテ居ル、即チ五圓ニ充タヌドコロデハナニ大方六圓ニナツテ居ル、右様ナコトデアル、ソレカラ町村ハ既ニ餘力ナキモノ、如シトアルガ是モ井上吏部大臣ガ出サレタ……其後段々増加シテ町村ノ餘力ガナニ頃デアリマス、併ナガラ年々殖エテ居ル、其殖エタ高ハドウデアアルカト云フノニナカク、少カラヌ高デアアル、前年ト今年ト較ベルト、正教員ハ准教員ノ俸給ガ五百五十九萬五千餘圓殖エテ居ル、ソレカラシテ……サウジヤゴザリマセヌ、正教員准教員ノ俸給ガ殘ラズデ五百九十九萬五千餘圓デアアル、ソレデ四十一萬四千餘圓増シテ居ル、ソレカラシテ年數ガ増シタリ種々ノコトデ増シテ全ク俸給ノ一年ニ増シテ居ル高ガ二十二萬七千餘圓増シテ居ル、前年モ其ノ通増シテ居ル、一年ノ正教員ノ俸給ハ此年報ニ依ルト四圓増シテ居ル、一年ノ間ニ四圓増シテ居ル、ソレカラ准教員ガ三圓増シテ居ル、合計七圓増シテ居ル、ソレカラ其前年ガドウデアアルカト云フト、井上吏部大臣ノ時ニモ同様、翌年度即チ昨年度モ矢張同様ニ七圓年々増シテ居ル、年々七圓宛増給シテ居ル、非常ナ増給デアアル、之ヲ以テ町村ノ資力既ニ餘力ナキモノ、如シト言フノハ三年前ナレバ宜シイガ、今日吏部大臣ガ御發案ニナツテ居ルノハ甚ダ當ヲ得テ居ラス

○議長(侯爵須賀茂昭君) ソレハ質問デスカ
○久保田讓君 質問デアリマス
○議長(侯爵須賀茂昭君) ドウモソレハ質問トハ思ハレマセヌ
(子爵曾我祐準君) 必要ナ質問デアリマス、斯ウ云フノガ餘程質問トシテ好マシイノデス(ト述フ)
○久保田讓君 ソコデ今年吏部大臣ノ出サレタ年報ハ決シテ輕シク出サレタ年報デアリ、天皇陛下ニ奏聞シテ自分ノシタ仕事ハ一年ニ斯ノ如キ結果デアルト云フコトヲ奏聞サレタル年報デアアル、所ガ此法案モ亦同ジク、天皇陛下ノ裁可ヲ經テ此議場ヘ御提出ニナツタモノデ何レモ非常ニ大切ナモノト思フテ居ル、大切ナ案ト信ズルデアアル、所ガマルデ前後矛盾致シテ居ル、即チ此年報ニ依ルト、ドウ云フコトガ書イテアリマスカ公立小學校教員ノ俸給ハ年々増加ノ狀況ヲ呈セリ即チ年々増加ノ狀況ヲ呈スルトゴザイマス、ソレカラシテ正教員ハ四圓准教員ハ三圓増セリトアリマス、ソレカラ亦以テ教員待遇上漸次厚キヲ加フルコトヲ推知スルニ足ルベシト年報ニハ書イテアリマス、サウシテ是ハ吏部大臣カラ、天皇陛下ニモ奏上ニナツテ居ルモノデアリマス、然ルニ此理由書ニハ如何ナルコトガ書イテアルカト云フト即チ先刻申シタ通多數ノ町村ハ既ニ餘力ナキモノ、如シ其結果トシテ正教員ノ俸給ハ全國ノ平均九圓ニ過ギズ而シテ准教員ニ在ッテハ僅々五圓ニ充タズ、尙ホ又餘程ヒドイコトガ書イテアル、今ハ教員ノ待遇其宜キヲ得ザルガタメニ

云々ト云フヤウナコトガ書イテアル、即チ其年報トソレカラ此理由書ニ書イテアル所ノコト、ハ全クドウモ正反對デアアル、片方ノ方ハ段々盛ニ教員ノ俸給ハ次第二増シテ居リ次第二優遇ヲスルト云フコトヲ世間ニ吹聴ラシ、天皇陛下ヘモ奏聞ニナツテ居ル、一方ニ向ッテハ唯今ドウモ町村ニ資力ガナイタメニ教員ハ幾ド一身落莫ノ現況ニ這入ッテ居ルト、誠ニ本員ハ迷フ、ソレデ果シテ此理由ハ新ニ吏部大臣ガ考ヘラレタ理由デアアルカ、或ハ前ノ反古ヲ引ッ張り出シテ其儘ヲ投出シタノデアアルカ、本員ハ迷フ、是ハ一ツ悉シク御答ヲ願ヒマス

○政府委員(木場貞長君) 御答ヲ致シマス、此法律案ハ第五帝國議會ニ提出シタ法案ヲ成ルベク變ヘズ出シマシタ、隨ッテ理由書モ久保田君ノ言ハレルヤウニ文字マデモ繼襲シテ居リマス、ソレデ理由書ニ申述ベテアル所ノ町村ハ餘力ナキモノ、如シトカ或ハ正教員ノ俸給ハ九圓、准教員ハ五圓ニ充タヌト云フコトヲ書イテアルノモ明ニ斷ッテ明治二十五年度ニ於テ云フ文子ヲ存シテアルノデ、其後ノ統計ノ所ハ之ト大ナル差ガアレバ變ヘマスガ併ナガラ大數ノ上ニ於キマシテ左程差ガアリマセヌカラ成ルベク本案ハ前ノ法案ニ依リ理由モ同一ノ理由デ違タ理由ハアリマセヌカラソレヲ繼襲シタノデアリマス、ソレダケノコトデ外ニ意味ハアリマセヌ

○久保田讓君 如何デゴザイマス町村ハ既ニ餘力ナキモノ、如シト云フトガアルニ拘ラズ一方ニ於テハ年々教員ノ俸給ヲ増シテ居ル、増シテ居ルノニサウ云フ理由ヲ附ケテ出スノハ甚ダ怪シカラヌ謾デアアル、即チ吏部大臣ノ先刻ノ御演說ニアツタ如ク十九年カラ教員ノ俸給ヲ支給スルト云フノデアアルガ今日ハ二十四年カラト云フコトデ、是ハ衆議院デ木場君ガ説明セラレタノニ十九年カラデハ餘リ教員ガ結構過ギルカラト云フコトデアアルガ是ハ實ニ怪シカラヌ、井上吏部大臣ガ此法ヲ出シテ今日ハ已ニ實行サレタ決シテ結構ドコロデハナニモウ既ニ増俸ヲ貰ッテ居ルデセウ、ソレガ今日マデ後レテ居ルテ其タメニ恩給ヲ蒙ル者ガ蒙ラズニ居ル、然ルヲ結構過ギルトハ甚ダ怪シカラヌ、今日マデ充分イビツデアアルニ拘ラズ此ノ如キコトハイビツテナイヤウニ言ハレルノハ甚ダ疑ハシイ

○政府委員(木場貞長君) モウ半分御答ヲ申シテ置キマシタカラアトノコトヲ御答申シマスガ、今御答申シマシタ所ハ第五議會ニ提出シマシタト今日提出シマシタトハ格別不都合ノナイ所ハ成ルベク前ノヲ繼襲シタト云フコトヲ説明致シマシタ、ソレカラ今日町村ハ既ニ餘力ナキモノ、如シト云フトハ今日デモ言ヒ得ルカト申シマシタラ今日デモ言ヒ得ル積デ這入ッテ居リマスガ、ト申シマスルモノハ絶對ニ餘力ガナイトハ無論申シマセヌケレドモ理由書ハ言葉モ簡單デゴリンスルカラ總テノ場合、除外例ノ場合マデハ入レテナイノデゴザイマス、デ町村ガ此後負擔セネバナラヌコトハ教育費ダケニ附キマシテモ甚ダ少シトシマセヌ、校舍ノ如キモ今日ノ校舍デハ極メテ不充分極メテ狹隘、是等ノタメニモ餘程費用ヲ費サネバナリマセヌ、又兒童ノ就學ノ殖エルニ隨ッテ教員モ増サナケレバナリマセヌ、ソレカラ設備モ完全ニシナクテハナラヌ、是等ノ費用ハ矢張町村ガ餘程負擔シナケレバナラヌ、ソレヲ見テカラ教員ノ俸給ヲ此後増スダケノ餘裕ガナイト云フノヲ約メテ書イテアリマスカラ文句ノ足ラナイ所ヲ御攻撃ニナレバ右様ナコトガ出ルデアリ

マセウ……

○久保田讓君 モウ重ネテ何モ言ヒマセヌ、政府委員ハ如何ニモ色々辭柄ヲ設ケテ御辯解ニナリマスガ校舍ヲ設ケタルワレカラ色々費用ガアルカラ教員ヲ補助スルト云フ、ソレガ又ドウモ餘程本員杯ニ分ラヌデ其費用ノ金ノ高ト云フモノハ先刻申シマシタ通ニ稍ク始ハ二十萬、夫カラ仕舞ニ月給ハ十五年先キニハ五十萬六千六百萬ニモナルト、ドウシテ町村ノ費用小學校教員ノ俸給ガ五十萬六千六百萬出來ル譯デハゴザイマセヌ、ソレナコトデハ決シテ出來マセヌ、少クモ三百萬カ四百萬ハ無クテハ出來ナイ、之ヲ少シ國庫デ補助シテ非常ナコトヲナサルヤウナ話デアアルガナカ、非常ナコトドコロデハナイ、町村ノ實力カラ見ルトハ九牛ノ一モデモナイ、ソレヲ事々シク將來町村ノ建築其他ノ設備等モシナケレバナラヌカラ此補助ヲ遣リ又此補助ヲ行ケルト云フ御話デアリマスガ如何ニモソコガ分ラヌ、大體ノ計畫ガナイカラソコガ分ラヌ、ソレデ本員ハ文部大臣カラ大體ノ御説明ガアレバ伺ヒタイ、左モナケレバモウ決シテ御答ニハ及ビマセヌ

○政府委員(木場貞長君) 御尋ガアリマシタカラ申シマシタガ……

○久保田讓君 モウ宜シウゴザイマス、細カイ事ハ決シテ今日ハ承ラヌ

○政府委員(木場貞長君) 御聽ガナイトアレバ止メマス

○水之江浩君 少シ質問ヲ致シタイ、第五條ニ教員ノ勤續ノ事ガアリマスガ是ハ他ノ學校ニ勤續スルマデノ間ノ猶豫ヲ與ヘマシタモノデ、其間矢張尙ホ休ンデ居テモ勤務致シタト同一ニ勤續ノ例ニ依ッテ年功加俸ヲ致シマスル譯デアリマスカ

○政府委員(木場貞長君) 短簡デアリマスカラコチカラ御答致シマス、詰リ己レノ任意デナク學校ノ都合ノタメニ其學校ニ居ルコトノ出來ナイ場合ニハ六十日、衆議院ノ修正ニ依リマシテ六十日以内ハ他ノ所ニ轉任シテモ矢張續イタモノト見做シマス

○水之江浩君 尙ホ休業致シテモ繼續ニナリマスルカ、六十日ノ間ハ他ノ學校ニ就職ノタメニ休業致シマスソレ等モ勤務ヲ致シタト同一ニ見做サレマスカ

○政府委員(木場貞長君) 御答ヲ致シマスガ六十日以内ナラバ遊ンデ居テモ前後通算スルト云フ積デアリマス

○水之江浩君 尙ホ御尋致シマス、戰役ノ終リタル後九十日以内ニ更ニ就職シタルトキハ前後ノ在職年數ヲ勤續年數ニ通算スト斯様ニゴザイマスガ五條ニ據リマシタ分ハ猶豫ヲ與ヘマシタル日數ヲ通算致シマスヤウニ見エマスガ兵役ノタメニ退職致シタ者ハ其間ノ猶豫ノ日數ヲ通算シマセヌヤウニ私ハ考ヘマスガ、ドウ云フコトデゴザイマスカ

○政府委員(木場貞長君) 御答ヲ致シマス、是ハ退ケテ居ルタケ取ッテ仕舞ッテ前後ヲ合計致シマス

○水之江浩君 尙ホ御尋致シマスガ五條ニ言ッテアル分ハ六十日繼續ガ出來マスガ兵役ハ國民最大ノ義務デアアルノニ終リマスマデ繼續ガ……一方ハ加ヘ一方ハ除ケルト云フ其理由ヲ承リタイ

○政府委員(木場貞長君) ドチラモ遊ンデ居ル日ハ除ケル積デゴワンス

○水之江浩君 然ラバ遊ンデ居ルノガ五年ノ内デ二箇月遊ンデ居レバ五年ト又別ニ二箇月ナケレバ繼續ニナリマセヌカ

○政府委員(木場貞長君) 御答シマスガ繼續ニハナル積デゴワンス

○水之江浩君 繼續ニハナリマスガ五年ノ内デ二箇月缺ゲテ居リマスストキハ五年ト又別ニ二箇月勤メナケレバ先づ第一ノ年功加俸ヲ貰フ譯ニハ參リマセヌカ

○政府委員(木場貞長君) 文面カラ見マスレバ「勤續ノ例ニ依ル」ト云フコトハ嚴酷ニ解シマスストキハ矢張勤續スレバ其間ハ十日トカ二十日トカ退ケタノハ、除ケテ算ヘマスノデ……前ノ御答ハ不充分デアリマシタガ今申スコトハ、合ハナケレバ前ノハ取消シマス

○水之江浩君 左様デゴザイマスレバ一體六十日モ九十日モ猶豫ノ間ハ繋ギマスカ

○政府委員(木場貞長君) 是ハ餘程年數ノ過ギマスコトデアリマスカラ入レルト云フコトハ見デアリマセヌ

○水之江浩君 尤モ兵役ハ九十日猶豫ヲ與ヘルヤウデアリマスガ五條ノ猶豫ヲ入レ、バ六條ノ猶豫モ加ヘルコト、私ハ考ヘマス、ドウデゴザイマスカ

○政府委員(木場貞長君) 御意見トアレバ一應申シマスガ五條ノ方ハ行掛リテ手續上ノ僅ノ間デアッテ一列ニ見テ宜イ、アトノハ事ガ新シナリマスカラ其間ハ見ナカッタノデアリマス、尤モ政府ノ提出ノ原案ハ九十日ト云フ期限ハ附イテ居ナカッタノデゴワンス

○船越衛君 少シ質問ヲ致シタイ、明治二十三年法律第九十號ノ市町村立小學校教員退隱料……此退隱料ハ元來如何程ノ高ニナッテ居リマスカ、年々如何程ノ高ニナッテ居リマスカ、退隱料ノ年々ノ高ヲ……聽取レマセヌカ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 唯今ノ御質問ハ退隱料ノ事デハナイノデスカ

○船越衛君 イヤ退隱料ノ高ガ聽キタイノデ、此案トハ關係ヲ持ッテ居リマスカラ聽テ置キタイ、勿論此次ノ案デアリマスガ此案ノ七條ニモ小學校教員退隱料ノ事ガ矢張出テ居リマスカラ此案デ聽イテモ宜シイト思ヒマス

○政府委員(木場貞長君) 唯今調ベテ御答ヲ致シマス

○政府委員(永井久一郎君) 船越君ノ御尋ハ一寸了解致シマセヌガ退隱料ノ何ノ高デゴザイマス

○船越衛君 市町村立小學校教員退隱料ハ町村等デスルコトニナッテ居ルヤウニ思ヒマスガ年々其高ハドノ位ニナッテ居リマスカ、ソレヲ承リタイ

○政府委員(永井久一郎君) 分リマシタ、御答ヲ致シマスガ小學校教員恩給基金ト申シテ府縣ニ備ヘテアリマス基金ハ二十五年一度ニ於キマシテ七萬二千二百九十七圓餘デ

○船越衛君(七萬……ト述フ)

七萬二千二百九十七圓デ圓以下ハ省キマス、ソレカラ二十六年度ニハ八萬二千五百十五圓、ソレニ加ハリマスノデ

○船越衛君(年々殖エマスノデスカト述フ)

サウモ參リマセヌ、二十七年一度ニハ七萬七千四百七十七圓、二十七年一度ノ末ノ恩給基金ノ合計ハ二十三萬八百六十圓ニナリマス

○船越衛君(二十七年ハト述フ)

七萬七千四百七十七圓デス

○船越衛君(分リマシタト述フ)

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○船越衛君 特別委員ノ審査ハ……選舉ハ議長ニ御任セテ致シマス

○小原重哉君 賛成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 船越君ヨリ委員ノ選定ハ議長ニ託スルト云フ勸議、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一議會ヲ開キマス、通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年二月六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

(左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ此ニ載録ス)

公立學校職員退隱料等ニ關スル法律案

第一條 明治二十三年法律第九十號ハ第十五條ヲ除キ市町村立ノ徒弟學校及實業補習學校ノ教員ニ適用シ同年法律第九十一號ハ第一條及第二十條ヲ除キ公立ノ高等女學校專門學校技藝學校及其ノ他ノ公立學校ノ學校長及教員ニ適用ス

第二條 明治二十三年法律第九十號第二條及同年法律第九十一號第三條ハ非職又ハ休職滿期ニ依リ退職シ及校務ノ伸縮ニ依リ退職ヲ命シタル場合ニモ適用ス

退隱料ハ本職最終ノ俸額ニ依リ之ヲ算定ス

第三條 明治二十三年法律第九十號同年法律第九十一號及此ノ法律ニ依リ退隱料等ヲ受クヘキ學校長正教員ノ在職年月數ハ各公立學校ノ間ニ於テハ之ヲ通算ス

第四條 府縣立師範學校校長ヲシテ他ノ文官ト爲リ若クハ他ノ文官タリシ者府縣立師範學校長ト爲リタルトキハ其ノ在官年月數ハ明治二十三年法律第九十一號及官吏恩給法ニ於テハ各其ノ規定スル所ニ依リ其ノ在官年數若クハ在職年數中ニ通算スヘキモノトス

附則

第五條 此ノ法律ハ明治二十九年四月一日ヨリ施行ス

(國務大臣侯爵西園寺公望君演壇ニ登ル)

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 明治二十三年ニ法律ヲ以テ小學校中學校師範學校等ノ職員ニ向テ此退隱料等ノ制度ヲ設ケマシテゴザイマスガ此制度ハ右ノ三種ノ學校ニ止マツテ他ノ公立學校ノ職員ニ向テハ及ンデ居リマセナンダシ、高等女學校實業補習學校徒弟學校等總テ國家ニ必要ナモノデアリマシテ今日ハ是ガ獎勵ヲ要スル時デアリマス、此法案ハ是等ノ學校ノ職員ニ向テモ前ノ三種ノ學校ノ職員ニ向テ同様ニ此退隱料等ノ制度ヲ行

ハント欲スルノデアリマス、ツレカラ是等ノ總テノ公立學校ノ職員ガ轉任等ヲ致シタ場合ニ於テ勤續年數ヲ互ニ通算スルト云フ制度ヲ設ケル、元來此公立學校ノ職員ト云フモノハ甚ダ薄給ナモノデアリマシテナカク、俸給ノ或部分ヲ貯蓄シテ他年ノ計ヲ爲スト云フヤウナコトハ甚ダ難イ譯デアリマス此法案ヲ出シマスノ已ムコトヲ得ヌ所以デアリマス、速ニ可決アラント希望致シマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リマス

○子爵小笠原壽長君 此特別委員ハ前ノ市町村立小學校教員年功加俸國庫補助法案ノ同一ノ委員ニ付託致シタウゴザイマス、サウシテ議長ニ御委託ヲ致シマス

○鈴木傳五郎君 賛成

○公館近衛篤磨君 今ノドチラデスカ議長ニ委託スルト云フノカ、前ノ委員ニ付託スルノカ、ドチラカ分リマセヌ

○子爵小笠原壽長君 前ニ御委託シタ同一ノ委員ニ付シタイト云フ譯デアリマスカラ左様御承知願ヒタイ

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 小笠原子爵ヨリ市町村立小學校云々ノ法案ト同一委員ニ付託スルト云フ此勸議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ鎮守府造船材料資金增加ニ關スル法律案政府提出衆議院送付第一議會ヲ開キマス、書記官ヲシテ朗讀致サセマス

(有賀書記官朗讀)

鎮守府造船材料資金增加ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治二十九年二月六日

衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

明治二十九年度ヨリ漸次ニ金百四十五萬五千五百三十四圓二十八錢四厘ヲ鎮守府造船材料資金ニ増加ス

(政府委員男爵伊藤嘉吉君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵伊藤嘉吉君) 茲ニ提出ニナリマシタ鎮守府造船材料増加ノ法律案ニ附キマシテ説明ヲ仕リマス、是ハ說明ノ理由書ニモゴザイマス通ニ此材料資金ノ起リマシタノハ明治二十三年ヨリ起リマシテ年々特別會計トナリマシテ帝國議會ニ提出シ來ツテ居リマシテ此性質タルコトハ特別御存知ヲ蒙ツテ居ルコト、思ヒマスガザツト説明ヲ仕リマスルガ此造船材料ニ使ヒマスルモノハ所謂今日ニ於キマシテハ鋼ノ板鋼ノ角鐵其他種々ナル材料デアリマス所ガ軍艦ノ性質噸數ニ應ジマシテ軍艦ノ材料ト申シマスルモノハ殆ド船毎ニ違ツテ居リマス、既ニ一昨年来ノ事件ニ附キマシテモ多數ノ軍艦ガ破損ヲ致シマスル速ニ此修繕ヲ致サヌケレバナリマセヌデアリマス、修繕ノ材料ト申シマスルモノハ此資本デ豫テ買整ヘテ貯ヘテアリマシタ所ガ一昨

年來ノ事件ハ餘程ノ軍艦ノ數モ出マシタ故ニ實ハ豫テ貯ヘテゴザイマスル材
料デハ如何アランカト餘程苦慮ヲ致シマシタガ幸ニシテ事件中ハ大イナル損
所モゴザイマセズ先ヅ豫テ貯ヘテゴザイマスル材料デ間ニ合ツテ參リマシテ
誠ニ仕合セヲ致シマシタガ後來連モ万一ノ僥倖シテツレニ安心ハ出來マセズ、
且ツ追々軍艦モ殖エマス見込デゴザイマスルカ今迄材料資金トシテ運轉シ
參リマシタル金ハ連モ足ラヌコトハ明ニ分リマシタ故ニ已ムナク當年ヨリ是
ダケノ金ヲ材料資金トシテ増加ヲ仰ギマシタ譯デアリマス、固ヨリ此法律ニ
ゴザイマスル通漸次ト云フコトハゴザイマスルカラ當年此百四十五萬圓程ヲ
皆出シマス云フコトハゴザイマスルニ是カラ二十九年度ニ三十餘萬圓程三
十年度ニ五十五萬圓程三十一年度ニ殘リ五十五萬圓程ヲ支出スル譯デアリマ
ス、此法律ニシテ經過ヲ致シマスル速ニ追加豫算ヲ出シマシテ二十九年度
ノ材料資金ヲ請求致シマスル積デゴザイマス、故ニ此法律案ハ成ルベク速ニ
御可決ヲ願ヒマスルト續キマシテツレニ對スル所ノ材料資金ノ特別會計ノ豫
算ヲ提出致サヌケレバナリマセズ、速ニ議決アラントヲ希望致シマス
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○長谷川貞雄君 此特別委員ノ選舉ハ議長ノ御指名ニ御一任致シタイ
○子爵小笠原壽長君 贊成

○角田林兵衛君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 長谷川君ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スル……此
動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ市制中東京市京都市大
坂市ニ設ケタル特別廢止法律案衆議院提出第一讀會ヲ開キマス是ハ總テ朗讀
ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

市制中東京市京都市大阪市ニ設ケタル特別廢止法律案
右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也
明治二十九年二月五日 衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

明治二十二年法律第十二號ハ明治二十九年九月三十日限り廢止ス

○西村亮吉君 私ハ此案ニ附キマシテ政府委員ニ一寸質問ヲシテ置キタイト
思ヒマス、宜シウゴザイマス

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 宜シウゴザイマス
○西村亮吉君 政府委員ニ質問致シマスルチウモノハ先達テ都制法案ノ提出
ニナツテ居リマシテ去ル幾日デゴザイマスルカ都制法案ソレニ牽連シタ案ヲ
總テ政府ハ撤回ヲ致サレマシタ、右ノ案ハ政府ノ再調ノ上當期議會ヘ提出ヲ
サル、考デアリマセウカ、ツレヲ承知シテ置キタウゴザイマス

○政府委員(松岡康毅君) 是ヨリ御答ヲ致シマス撤回致シマシタノハ尙ホ考
慮スベキコトアル所ヨリ致シマシテ撤回致シマシタ之ヲ當議會ニ出スカ否ヤ
ト申スコトハ唯今所謂考慮中デゴザイマスカラ 何共御答申ス譯ニハ參リマ

セヌ
○西村亮吉君 尙ホ質問致シマス、ツレデゴザイマスレバ再調ノ上御出シナ
サル、御考ハアルノデゴザイマス
○政府委員(松岡康毅君) 如何ニナリマスカ分リマセヌ、必ズ再調ノ上出ス
ト申シマスト御約束見タヤウニ聞ヘマスルガ、調ベテ見マスト出シマスカ止
メマスカ、ツレヲ今ドツチトモ御答致スコトハ出來兼マスル
○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○子爵堤功長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ於テ選定アラントヲ希望シマス
○子爵山口弘達君 贊成

○子爵鍋島直柔君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 堤子爵ヨリ委員ノ選定ヲ議長ニ託スト此動議ニ
贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、次ニ市制中追加法律案、衆
議院提出、第一讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ致サセマス

(有賀書記官朗讀)

市制中追加法律案
右憲法第三十八條ニ依リ貴院ニ提出候也
明治二十九年二月五日 衆議院議長楠本正隆

貴族院議長侯爵蜂須賀茂韶殿

明治二十一年法律第一號市制第七十二條ニ左ノ一項ヲ追加ス
東京市京都市大阪市ニ於テハ市長ハ區長及其代理者ヲシテ區内ニ關スル
國ノ行政及府ノ行政並ニ收入役ノ事務ヲ補助執行セシムルコトヲ得

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉ニ移リ
マス

○子爵堤功長君 本案ノ特別委員ハ議長ニ御依託ヲ致シマシタル所ノ特別廢
止法律案ト同一委員ニ付託致シタウゴザイマス
○小原重哉君 贊成

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 堤子爵ヨリ前案ト同一委員ニ付託スルト云フ動
議デゴザイマス、贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 多數

○議長(侯爵蜂須賀茂韶君) 多數デゴザイマス、明日ノ議事日程ヲ御報告ニ
及ビマス、書記官長ヲシテ朗讀致サセマス

(中根書記官朗讀)
午前十時開議

第一 請願委員長公爵二條基弘君報告
第二 營業滿期國立銀行處分法案(政府提出衆議院送付) 第一讀會
第三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四	國立銀行紙幣ノ通用及引換期限ニ關スル法律案 (政府提出衆議院送付)	第二讀會
第五	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 國立銀行營業滿期前特別處分法案(政府提出衆議院送付)	第一讀會
第六	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第七	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 銀行紙幣交換基金特別會計法第五條中改正法律案(政府提出衆議院送付)	第一讀會
第八	右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉	第一讀會
第九	北海道鐵道敷設法案(公爵近衛篤磨 君外二名發議)	第一讀會
第十	帝國圖書館ヲ設立スルノ建議案(重野安繡君 外一名發議)	會 議
第十一	復祿及復族祿ノ請願	會 議
第十二	郡分合ノ請願	會 議
第十三	古社寺保存方法及保存會組織ニ關スルノ請願	會 議
第十四	最上川治水ノ請願	會 議
第十五	農業會議所設立ノ請願	會 議
第十六	信濃川流末改修ノ請願	會 議
第十七	神戸港稅關擴張及波止場増築ノ請願	會 議
第十八	米原敦賀間鐵道柳ヶ瀬隧道改修延長及水災補助ノ請願	會 議
第十九	軍人軍屬從軍病死者遺族扶助料及一時賜金ニ關スルノ請願	會 議
第二十	東海道鐵道複線工事ニ關スルノ請願	會 議
第二十一	岩淵線工事繰上ノ請願	會 議
第二十二	開門設置ノ請願	會 議
第二十三	議長(侯爵峰須賀茂韶君) 本日ハ散會 午後二時三十一分散會	會 議